



北見西ロータリークラブ会報

2023～2024年度クラブテーマ

《さあ、親睦の絆を胸に新しいはじまりを》

■創立日 昭和46年4月29日(1971/4/29)
 ■承認日 昭和46年5月27日(1971/5/27)
 ■例会場所 ホテル黒部(7条西1丁目)
 ☎23-2251
 ■毎週木曜日 12時30分～13時30分
 ■事務局 ☎25-2824

■会長 齊藤伸一郎 ■会長エレクト 西村 清一
 ■副会長 松井 順仁 ■幹事 伊東 一志



世界に希望を生み出そう

第2500地区ガバナーテーマ

「今こそ変わる勇気を！ さあ、一步前へ」

第2465回例会

2023年11月16日(木)

ホテル黒部

本日のプログラム

R 財団月間に因んで

R 財団委員会

第2464回 例会記録

2023/11/9

黙 禱

11月6日にご逝去されました黒部会員に対して、故人を偲んで黙禱いたしました。

会長挨拶

齊藤会長



少し固い話ですが、北見西ロータリークラブとして大事なことなのでお聞きください。それは、北見西ロータリークラブ細則の一部改正についてです。以前から、北見西ロータリークラブの委員会構成を見直し出来ないのか、とのお声があり、また理事会でも申し送り事案としてありましたので、今年度、12月の年次総会には改正したいと思いましたが。それで、11月2日の理事会で現在の西ロータリークラブ細則にある、委員会を一部統合し、委員会の構成を再編成することについて審議を行い、北見西ロータリークラブの新しい委員会構成案を承認いただきました。

これに伴い、北見西ロータリークラブ細則の改正も行わなければなりません。細則改正は皆様の同意が必要となります。それで、12月7日の年次総会で、新・北見西ロータリークラブ細則(案)を皆様にお諮りいたします。また、この改正の予告は総会の少なくとも10日前には、皆様に書面によりお知らせしなければならないことになっておりますので、11月16日(木)までにはレターボックスに各資料を配布しておきますのでご参照ください。

さて、本日の例会は「出席に関して」で、出席委員会の担当です。「出席」について、私は10月26日の例会で出席率の低さを嘆くような会長挨拶をしてしまいました。今日は、私よりはるかにロータリーについてよく知っている3人の先輩ロータリアンが「出席」についてお話しくださいます。どのような事をお話しになるのか、楽しみにしております。川島会員、小西会員、溝口会員、後ほどよろしく願いいたします。

会長報告

齊藤会長

名誉会員についてです。今日配布した理事会議事録にあります。先週の11月2日の理事会で、北見西ロータリークラブ定款第8条第6節、北見西ロータリークラブ細則第11条第7節にのっとり審議を行い、45年以上にわたり、北見西ロータリークラブ運営に貢献した亀井さんを名誉会員として推薦することを決定しましたのでご報告申し上げます。後日、私会長と伊東幹事で亀井さんのご自宅へ伺うことといたします。

天気 ☁ (例会時) 最高気温 11℃



昼 食

通し 烏賊塩辛
 小鉢 水菜ときざみ揚げのお浸し
 蟹豆腐とじゃが芋のすり流し
 鰯と大根の煮つけ
 ご飯 味噌汁 香の物
 フルーツ コーヒー

- 1) 斉藤会長からもお話がありましたが、黒部会員がご逝去され、北見西ロータリークラブ慶弔規定の通り香典等を支出しましたことをご報告致します。また、先日FAXしました書類において、黒部会員が務められた会長幹事の年度に誤りがありました。大変申し訳ございません。黒部会員に心よりご冥福をお祈りいたします。
- 2) 新入会員候補の推薦がありましたので発表を致します。

会社 Sasaki HRD Office 代表
佐々木 優 奈 様 生年月日 H5年3月31日
職業分類：コンサルティング業
推 薦 者：今井会員・佐藤会員・迫田会員
入会予定日 令和6年1月からの入会予定です。

会社 ゴルファーズパーツボ3 代表
坪 内 則 博 様 生年月日 S33年3月30日
職業分類：飲食店
推 薦 者：今井会員・佐藤会員・迫田会員
入会予定日 令和6年1月からの入会予定です。

異議のある方は、書面にて7日以内に理事会に申し立てください。

会員に認められましたら、令和6年1月の入会予定です。

尚、本件はクラブ細則第11条〔会員選挙の方法〕に沿って行われ、会員選考委員会、職業分類委員会を通り、11月2日の理事会で承認されましたことをご報告いたします。

- 3) 北見商工会議所「がんばろう北見」応援実行委員会より、ホワイトイルミネーション事業実施協力のお願いが届いております。先の理事会で会員皆様へご協力を依頼し、集まった金額を、送金することと致しました。ご協力下さる会員様は、出入口付近に募金箱を置きますのでよろしくお願い致します。

プログラム

出席 について

出席委員会

土井出席委員長より挨拶の後、溝口会員、川島会員、小西会員に卓話をさせていただきました。



溝口会員

皆様こんにちは。例会出席率95%以上と自負しております溝口でございます。どうぞ宜しくお願い致します。先日出席委員長の土井さんから11月9日の出席委員会担当の例会に10分程話をしてほしいと言われて「なぜ私が、と申しましたら、溝口さんが会長の時例会出席率100%を目指していた覚えがあるので…」との話でした。もう10年前の話です。その時の出席委員長は「人生には3つの坂がある、上り坂、下り坂、そして“まさか”」と言っていた今は亡き山形ナマリで个性的な中西三郎さんでした。

中西さんカッコいい事言うな！と思っていたのですが、後から分かったことですがこの言葉はかの有名な松下幸之助さんが結婚式のスピーチで使った言葉だったのですネ。それはさておき、時の中西出席委員長に「出席率100%達成を目指そう」とハッパをかけられた事を思い出します。平成24年7月26日に2,000回のメモリアル例会があり100%を目指したのですが1名欠席で100%を逃したのは非常に残念でした。しかし、その年度5回の100%を達成したことは、時の中西委員長「あっぱれ！」です。

当時56名の会員数を65名に増やし出席率100%を目指そうと大きく振り子を振って頂いたおかげだと感謝しております。その後松浦信一会長、服部出席委員長の時も4回達成、これも「あっぱれ！」です。千葉会長、小嶋出席委員長のもとでは1回、また2020-2021年度棧会長、野呂出席委員長の時3回100%を達成しているのですが、この時期コロナの大流行が起こり国際ロータリー理事会の決定事項に「新型コロナウイルスの影響で直接顔を合わせることに不安を感じる人もいるため直接対面式のロータリーの会合や行事の参加は義務付けしないとの決議をしました。同時に北見西ロータリーク

ラブも今後の例会において欠席であっても全て出席扱いとすると理事会で決め、この年の12月3日から適用しました。その上での100%の為本当の意味での100%、「あっぱれ！」とは言えないのかもしれませんが、しかしこの取り扱いは翌年長い休会ののち3月4日からは適用されておりましたが、その理由がなぜなのか分かりません。緊急事態宣言が解けたからでしょうか？やはり分かりません。又この時期国際ロータリーはメイクアップ期間を大幅に変更し会員増強や退会防止のため規制緩和を実施して出席規定を見直しました。今まで例会欠席時メイクアップ可能期間が例会の前後14日以内という厳しいルールが大幅に緩和され欠席における年度内のメイクアップができるように改められました。我が西ロータリークラブではメイクアップ活動の19項目が決められております。そこで当クラブも国際ロータリーの規定に合わせ年度内のメイクアップを可能にしました。そのメイクアップ対象は活動計画書の18ページに載っています。

さてロータリアンにはロータリーの三大義務がありその1番目に例会出席の義務とあることは皆さんご存じだと思います。まず例会ありきで「出席なくして親睦なし、親睦なくして奉仕なし」これがすべての原点です。例会出席が成立しないと最後の奉仕も成立しません。我がクラブは2500地区のクラブの中では出席率の高い方ですが先日10月19日の例会で衝撃的な出来事がありました出席率57%でいつもの例会より欠席者が15人ほど多く各テーブルから食事を下げるのを見て下げた食事はどうするのだろう！食品ロスになるのかな？と同時に例会の出欠を毎月取っているのになぜだろうと不思議に思いました。こんなところにもコロナ禍におけるロータリアンの緊張感が薄れてきているのかもしれませんが。この本日の出席に関しての例会をきっかけに会員一人ひとりが出席の意義を今一度考え直し新たな気持ちで例会に出席し、新しい知識を吸収し親睦を深めて頂きたいと思います。又休みがちの会員へのコミュニケーションを取ることが良い結果となり「お声掛け」が大事だとも思います。我がクラブにも何十年も出席100%の会員がおります。この会員こそロータリークラブの鏡であり、目標でもあります。事業も安定し健康に恵まれているからこそ達成できる目標でもあるのです。自分のクラブの例会に出席するという事はロータリアンとしての最小限の奉仕であり、さらにその出席率のより高い理想に向かって努力することこそロータリアンに求められている事なのです。出席100%会員には大きくクラブで表彰すべきだと考えます。今回土井さんに頼まれ忘れかけていた出席に対する意義を改めて考える機会となり例会出席の重要性を思い起こさせてくれました。これからは私自身出席率100%を目指し努力していきたいと思います。ご清聴ありがとうございました。



川島会員

私の西ロータリークラブの入会は、1985年8月22日（昭和60年）在籍年数は、38年になりました。当時の会長は、奥寺さん。スポンサーは、加藤さん。田口さんです。

その頃は、出席は大変厳しくて、例会に出席できない時には、必ずと言っていいほどメーキャップをしなければならない時でした。市内の2クラブや、美幌は、グランドホテル。留辺蘂は、商工会館、札幌RCは、札幌グランドホテル。東京RCは、帝国ホテルでメーキャップを時々しました。

海外でもメーキャップをしています。ハワイ島でも何回かメーキャップをしていますし、オーストラリアのシドニー。パースでもメーキャップをしました。

オーストラリアでのメーキャップは、昼間の例会なのに、食事時はワインを飲みながらの例会にびっくりしました。（飲酒運転になるのでは？）そして、例会場には、エリザベスイギリス女王の肖像画を飾っての例会。

今から20年ほど前の西RCでは、（2003年ごろ）対外的に活動が活発な時期でした。副島さんがガバナーで、会長は中川社長。わたしは、車の運転をしながら、ガバナーと一緒に地区の何カ所かを回って、ロータリーの勉強をしてきました。

当時の出席率は、90%以上。ホーム例会出席で、100%の会員が6名です。出席なくしてクラブ活動はないと言われ、出席できなければ必ずメーキャップをするように指導されました。

去年の西RCの年間出席率は78.9%、今年の例会出席率は75%ぐらい。ただ、10月19日の例会出席率は、50数パーセント。

○ロータリアンとしての義務

出席に関しては、一定の基準以上の例会出席をする。

会費の納入。

地域社会を代表する者としての、責任と自覚をもって行動する。

○私の考えは

我々はロータリアンであると同時に、北見の経済界の中心的な役割を担って活動し、行動をしてい

るわけで、時には、札幌へ出かける、ある時は、東京へと仕事が入ってくると行かなければならない。

仕事の合間をうまく使いながら、ロータリーの例会にも出席する。メーカーも忘れないで行くようにしながら、上手く、時間調節をしていくことが大切ではないかと思えます。



小西会員

以前は出席が本当に厳しく100%を求められていた。確かめてはいないが、他所はもっと厳しいという話もあった。入院している人を病院から背負って例会出席したという話も聞いた。(ただそんな事例があったと聞いただけで、誰ともどこのクラブとも知らない)

標準定款上は現在と変わらない。出席を強調するようになったのは『1922年から』クラブ間での出席競争を奨励していたようだ。正式に競争はしなかったが、しているかの如くに会員に要請していた。100%出席の記録は何年も続いていた。4回以上連続欠席で退会を強いられた人もいる。強制か自主的かは知らない。

I M (都市連合会) は、現在では講演を聴く集まりになって、G補佐が主催しG補佐を出したクラブがホストしているが、以前はI G F (都市連合一般討論会) という名称で、ロータリー全般についてや、各クラブの運営・行事内容などについて実際に討論する会だった。だから、クラブ内で事前に勉強して臨む必要があった。そういった場で、「北見はクラブが3つもあるからいいよ」と言われたこともある。

斜里クラブの人と隣り合ったとき、「斜里は漁業の町。漁業従事者が多い。魚が来ているとき、魚に例会が終わるまでちょっとそこで待っていてくれと言っても、聴いてはくれない」そこは友情とごまかしでやるしかない。と実情を話してくれた。

わたしも出席委員長を務めたことがある。100%が求められていた頃だった。わたしとしては、出席を奨励すること自体は反対ではなかった。ただ、ロータリーは暇人の集まりではなく、事業家として現役で感謝の先頭に立って指揮する立場の人の集まりなので、時に欠席するのはやむを得ないと言うよりは当然のことと思っていた。出張があって出席出来なかったという人に、「欠席で報告させて欲しい」とお願いして、例会の出席報告で欠席1名とやった。その夜会長から電話があり、「俺が出席出来ない病状の診断書を書いてやるから、出席に変更しろという人が現れた。そのようにして貰えないか」という話だった。申し出た本人からの電話だったら趣旨が違うのではないかと反論したかったが、困り果てている会長にそうは言えず、自週例会で変更した。

昔はメイクアップ出来る期間が例会の前後1週間と短かった。会員にとっては厳しい規則だった。現在は年度内にメイクアップするようになっていて、会員には優しく改正されましたが、これは管理する出席委員にとっては大変なことで、とても管理しきれない。各自が出席委員会にメイクアップの有無を報告して協力してあげたら如何と思っています。

■ 例会予告	11月23日	法定休日	
	11月30日	情報集会報告②	R 情報委員会
	12月7日	年次総会 ゲスト卓話「地域における歯科衛生士の役割と オホーツク社会福祉専門学校歯科衛生士科の取り組みについて」 学校法人栗原学園 オホーツク社会福祉専門学校 歯科衛生士科 学科長 田村 智美氏 プログラム委員会	会長・幹事

出席報告		土井出席委員長						
	月 日	会員数 (A)	出席免除者数 (B)	出席数 (免除者含む) (C)	例会に出席した 免除者の数 (D)	事前メー クアップ (E)	事後メー クアップ (F)	出席率 $\frac{C+E+F}{(A-B)+D} \times 100$
本日例会	11月9日	61	12	38	9	0		65.5%